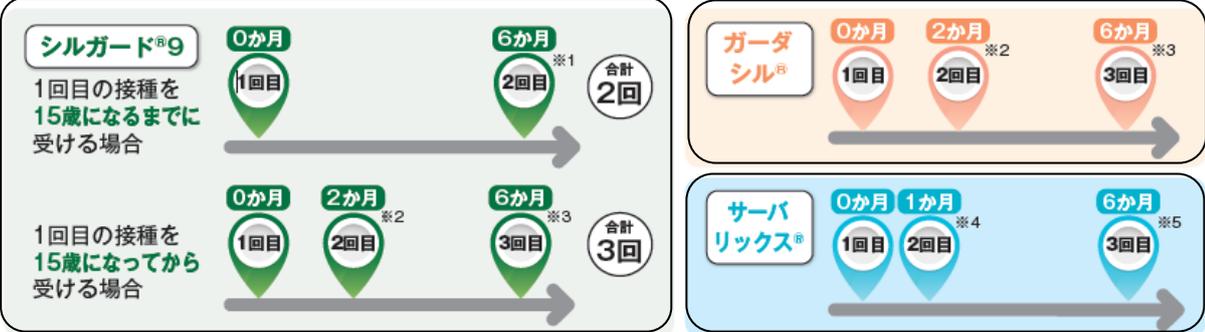


# ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症予防接種の説明

<p>接種対象年齢 (無料で受けられる年齢)</p>	<p>小学6年から高校1年に相当する年齢の女子（望ましい接種年齢：中学1年に相当する年齢の女子） ※キャッチアップ接種：令和4年度から令和6年度の3年間に限り、平成9年4月2日から平成20年4月1日までの間に生まれた女性</p>												
<p>ワクチンの種類</p>	<p>不活化ワクチン ヒトパピローマウイルス感染症予防ワクチンは、「2価・サーバリックス」と「4価・ガーダシル」と「9価・シルガード9」の3種類があります。</p> <table border="1" data-bbox="336 342 1474 551"> <thead> <tr> <th></th> <th>2価(サーバリックス)</th> <th>4価(ガーダシル)</th> <th>9価(シルガード9)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防できるHPVの型</td> <td>HPV16・18</td> <td>HPV6・11・16・18</td> <td>HPV6・11・16・18・31・33・45・52・58</td> </tr> <tr> <td>予防できる病気</td> <td>子宮頸がん</td> <td>子宮頸がん 尖圭コンジローマ</td> <td>子宮頸がん 尖圭コンジローマ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ヒトパピローマウイルス(HPV)には多くの種類があります。予防接種だけですべての子宮頸がん及びその前がん病変などを防ぐことはできませんし、すでに感染しているウイルスを排除したり、発症しているがんの進行を遅らせたり、治療することはできません。 ※ワクチンは、原則として同じ種類のワクチンを接種します。途中から「9価」ワクチンに変更する場合は、厚生労働省作成の資料を見たり、医師とよく相談のうえ、残りの回数を変更しても差し支えありません。</p>		2価(サーバリックス)	4価(ガーダシル)	9価(シルガード9)	予防できるHPVの型	HPV16・18	HPV6・11・16・18	HPV6・11・16・18・31・33・45・52・58	予防できる病気	子宮頸がん	子宮頸がん 尖圭コンジローマ	子宮頸がん 尖圭コンジローマ
	2価(サーバリックス)	4価(ガーダシル)	9価(シルガード9)										
予防できるHPVの型	HPV16・18	HPV6・11・16・18	HPV6・11・16・18・31・33・45・52・58										
予防できる病気	子宮頸がん	子宮頸がん 尖圭コンジローマ	子宮頸がん 尖圭コンジローマ										
<p>予防する病気</p>	<p>&lt;子宮頸がん&gt; 子宮の入り口(頸部)にできるがんで、日本では年間約10,000人以上の女性が新たに子宮頸がんと診断されます。ほとんどはHPVの感染が原因で発症することが解明されています。このウイルスは主に性交渉で感染し、女性の約8割が一度は感染するといわれています。感染しても大部分は自然に排除されますが、まれに持続的に感染することがあり、5年から10年以上を経て一部ががんの発症につながります。子宮頸がんは20～30歳代で急増しています。ウイルスに感染している可能性が低い10代前半にワクチンを接種する事で、子宮頸がんの発症をより効果的に予防できます。</p> <p>&lt;尖圭コンジローマ&gt; HPVの感染が原因で、外陰部にイボのようなものができる病気です。主に性交渉によって感染し、自覚症状はあまりありません。ほとんどの場合、悪性化することはありませんが、まれに、悪性化する可能性もあるため、経過観察が必要な場合もあります。性感染症の中でも、近年は増加傾向にあります。</p>												
<p>接種回数 一般的なスケジュール</p>	<p>6か月の間に計3回 ★接種を希望の方は対象年齢以内に3回接種が終わるように早めに接種しましょう。</p>  <p>3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。</p> <p>※1 1回目と2回目の接種は、通常5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。 ※2-3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。 ※4-5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上(※5)あけます。</p>												
<p>実施期間</p>	<p>年間通して実施</p>												
<p>実施場所</p>	<p>個別予防接種実施医療機関</p>												
<p>注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省のホームページにあるHPVワクチンの資料も参考にしてください。</li> <li>接種後の血管迷走神経反射として失神があらわれることがあるので、失神による転倒等を防止するため、注射後の移動の際には、保護者又は医療従事者が腕を持つなどして付き添うようにし、接種後30分程度体重を預けられるような場所で座らせるなど、なるべく立ち上がらないようにしましょう。</li> <li>保護者が同伴しないで、13歳以上のお子様1人でヒトパピローマウイルス感染症予防接種を受ける場合はあらかじめ同意書(予診票裏面)と予診票の2箇所保護者の方の署名が必要です。</li> <li>ワクチンで防ぎきれなかったがんを早く見つけて治療するためには、子宮頸がん検診が必要です。<u>20歳以上になったら定期的ながん検診を受けましょう。</u></li> <li>接種の際は、必ず母子健康手帳をご持参ください。</li> </ul>												

副反応	<p>どのワクチンもワクチン接種後に血管迷走神経反射による失神が現れることがあるので、表面の注意事項を守りましょう。</p> <p>&lt;2価・サーバリックス&gt;国内臨床試験において、局所症状は疼痛99.0%、発赤88.2%、首長 78.8%、全身症状は疲労57.7%、筋肉痛45.3%、頭痛37.9%、胃腸症状24.7%、関節痛20.3%、発疹5.7%、発熱5.6%、蕁麻疹2.6%でした。</p> <p>&lt;4価・ガーダシル&gt;国内臨床試験において、局所症状は疼痛82.5%、紅斑30.2%、腫脹25.4%、そう痒感5.0%でした。また、全身性の副反応は発熱5.8%、頭痛4.0%、臨床検査値異常変動0.8%に認められました。</p> <p>&lt;9価・シルガード9&gt;国内臨床試験において、局所症状は疼痛81.9%、腫脹44.9%、紅斑40.2%、そう痒感9.4%、出血3.1%でした。また、全身性の副反応は頭痛3.9%、発熱3.1%、悪心2.4%に認められました。</p>
備考	<p>各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。</p> <p>必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。</p>